

2024年10月 現在

Fujitsu Software

Symfoware Server Advanced Backup Controller V12a (V12.9.0)

本商品は、Symfoware Server V12aのオプション製品です。

本商品を利用することで、データベースを高速にバックアップ/リカバリーすることができます。テラバイトオーダーの大容量データを分単位でバックアップできます。

V12よりSymfoware Serverは、従来のデータベースに加えて、OSSであるPostgreSQLをベースに機能強化したデータベースを搭載しています。どちらか一方を選んで使用することができます。

Symfoware Server (Postgres) :

- ・OSSであるPostgreSQLをベースに機能強化したデータベースです。

Symfoware Server (Native) :

- ・富士通独自技術を採用したデータベースです。

本商品は、Symfoware Server (Native)のみに対応します。

- サーバ(Symfoware Server (Native))

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン

- サーバ(Symfoware Server (Native))

Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)

1. バックアップ機能

・ ETERNUSディスクアレイのアドバンスド・コピー機能(EC/OPC)を使用した高速なディスク間のコピーを、データベースのバックアップデータとして扱うことができます。また、複数のETERNUSディスクアレイ筐体間でPRIMECLUSTER GDS機能によりミラーリングしたコピーも、データベースのバックアップデータとして扱うことができます。

ETERNUSディスクアレイを使用しない場合でもPRIMECLUSTER GDS機能によりディスクをミラーリングした上で、そのディスクを切り離すと、切り離したディスクをデータベースのバックアップデータとして扱うことができます。

また、ディスクの切断操作やコピー開始指示もSymfowareのデータ管理と連携してデータベースの整合性を保証するため、データ更新を伴うサービスの実行中にバックアップ操作をすることができます。

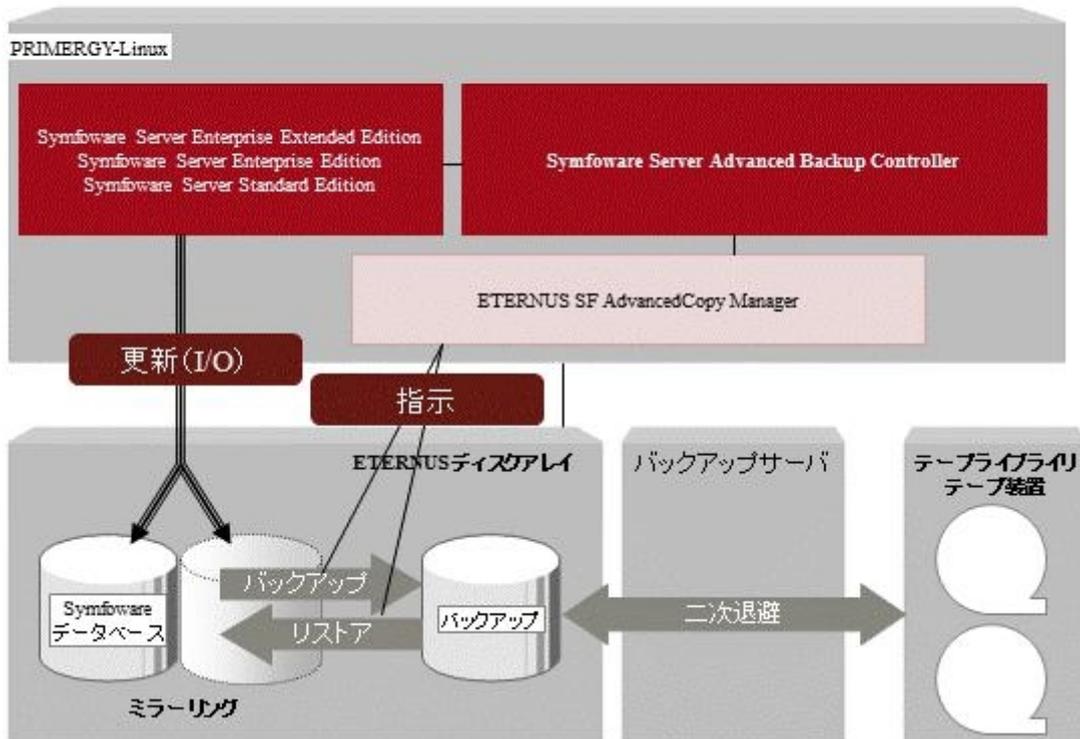
2. リカバリー機能

・ データベース破壊時にバックアップ機能で作成したバックアップデータを使用してデータベースを復旧することができます。バックアップ時点への復元、および最新状態や任意の時点への復元等、運用要件に沿って柔軟なリカバリー運用が実現可能です。ETERNUSディスクアレイを使用している場合には、ETERNUSディスクアレイのOPC機能を利用し高速にバックアップ時へ復元することができます。

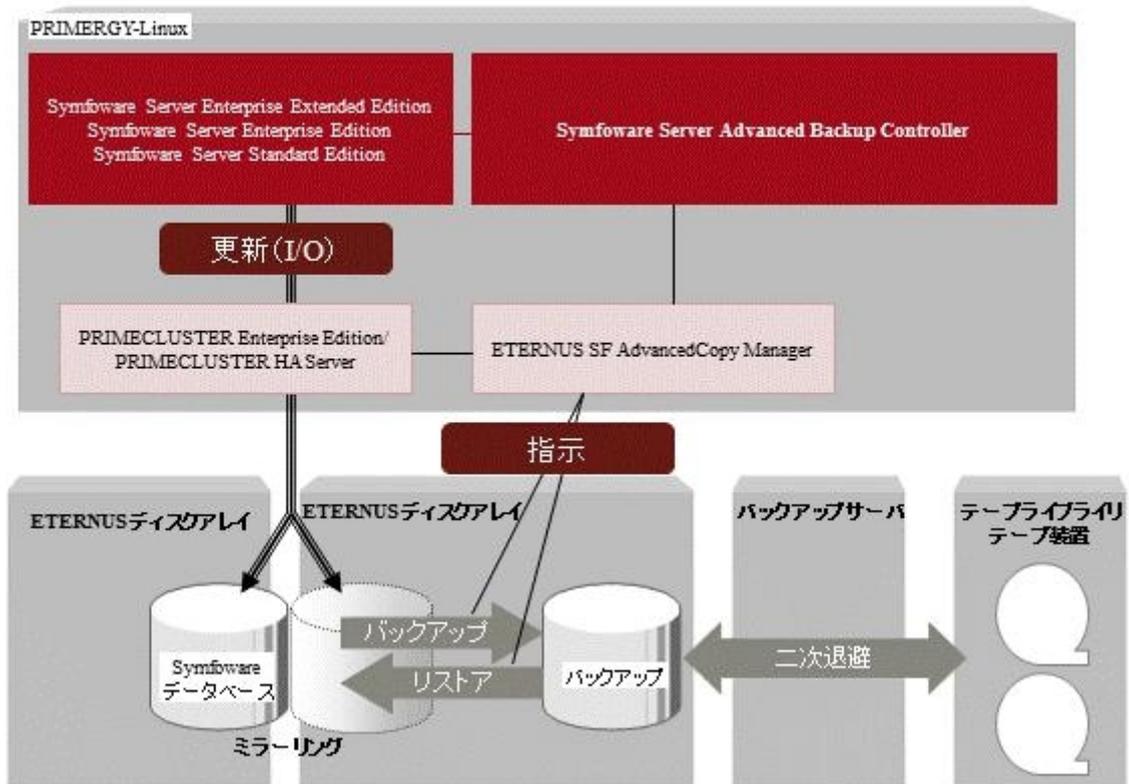
3. 媒体管理機能

・ ETERNUS SF AdvancedCopy Managerとの連携により、ミラーリングしたディスクの切り離しにより作成した一次退避媒体や、復旧に必要なログをデータベースと関連づけて自動管理します。リカバリー時に必要な退避媒体の選択がワンタッチでできます。また、バックアップサーバを導入した場合、テープライブラリ・テープ装置に吸い上げた二次退避までデータベースと関連づけて自動管理します。

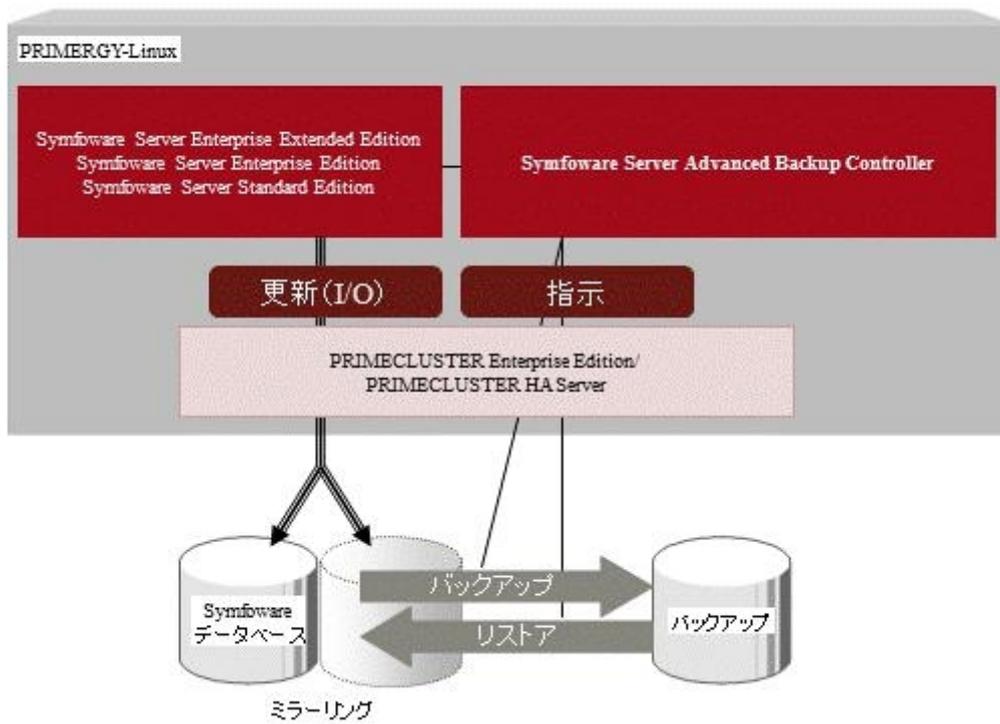
ETERNUSディスクアレイのアドバンスド・コピー機能を利用して
ミラーリングしたデータベースをバックアップする場合



ETERNUSディスクアレイ筐体間でミラーリングしたデータベースをバックアップする場合



PRIMECLUSTER GDS機能を利用して
ミラーリングしたデータベースをバックアップする場合



V12.8.0からV12.9.0の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. Symfoware Server V12.9.0対応

以下のSymfoware Server (Native)に対応します。

- Symfoware Server Enterprise Extended Edition V12a (V12.9.0)
- Symfoware Server Enterprise Edition V12a (V12.9.0)
- Symfoware Server Standard Edition V12a(V12.9.0)

2. 新OS対応

以下のOSに対応します。

- Red Hat Enterprise Linux 9.4
- Red Hat Enterprise Linux 8.10

標準添付品

- ・ オンラインマニュアル

- ・ Symfoware Server (Native)を参照してください。

【メディア】

- ・ Symfoware Server Enterprise Extended Edition メディアパック(64bit) V12a (V12.9.0)
- ・ Symfoware Server Enterprise Edition メディアパック(64bit) V12a (V12.9.0)
- ・ Symfoware Server Standard Edition メディアパック(64bit) V12a (V12.9.0)

(注) V12.9.0は64bit版メディアパックのみです。

【サブスクリプションライセンス/サポート】

[サブスクリプションライセンス/サポート(月額払い)]

- ・ Symfoware Server Advanced Backup Controller プロセッサライセンス for Linux (SL&S)

[サブスクリプションライセンス/サポート(まとめ払い)]

- ・ Symfoware Server Advanced Backup Controller プロセッサライセンス for Linux (SL&S) 7年

1. Symfoware Server V12.9.0のメディアパックについて

本商品のプログラムは、Symfoware Serverのメディアパックに含まれています。ただし、メディアパックには使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックとサブスクリプションライセンス/サポートを同時にご購入ください。バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

各メディアパックの構成

メディアパック名	構成製品名							
	本体			オプション			同梱	
	EEE	EE	SE	ABC	MC	ADBG	LINK	REP
Symfoware Server Enterprise Extended Editionメディアパック	●	—	—	●	●	●	●	●
Symfoware Server Enterprise Editionメディアパック	—	●	—	●	●	●	●	●
Symfoware Server Standard Editionメディアパック	—	—	●	●	—	—	—	—

●：提供、—：提供なし

EEE：Symfoware Server Enterprise Extended Edition

EE：Symfoware Server Enterprise Edition

SE：Symfoware Server Standard Edition

ABC：Symfoware Server Advanced Backup Controller

MC：Symfoware Server Mirroring Controller

ADBG：Symfoware Active DB Guard

LINK：Linkexpress

REP：Linkexpress Replication option

2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。
- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「富士通製ソフトウェアのライセンス体系」を参照ください。

Symfoware Server(Native)に割り当てるCPU数分のSymfoware Server Advanced Backup Controllerプロセッサライセンスを購入してください。

Symfoware Server(Native)がクライアントライセンスでも組み合わせ可能です。

3. サブスクリプションライセンス/サポートでの最新プログラムの提供について

サブスクリプションライセンス/サポート契約の一環として、最新バージョン/レベルのプログラムを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）

4. ダウングレード使用（旧バージョン または 旧レベル商品の使用）について

本商品のライセンスでは、ダウングレード使用（本商品の旧バージョン または 旧レベルを使用）する権利はありません。

対象のバージョン または レベルを使用する場合は、対象のバージョン または レベルに対応したライセンスをご購入ください。

5. クラスタシステムで運用する場合の購入方法

クラスタシステムで運用する場合は、運用ノードに搭載するプロセッサ数1つ分の購入に対して、待機ノードに搭載するプロセッサ数1つ分は購入不要です。待機ノード数が運用ノード数より多くなる構成の場合は、運用ノードに搭載するプロセッサ数のライセンスの他に、待機ノードに搭載するプロセッサ数から運用ノードに搭載するプロセッサ数を差し引いた分のライセンスを購入してください。

クラスタシステム内の各ノードは、すべて同一のライセンス形態の製品を購入してください。

6. V7.0以降の旧商品からのバージョンアップ/レベルアップについて

V7.0以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン/レベルを提供いたします。また、32ビット商品と64ビット商品間での切り替えも可能です。

（お客様からのご要求が必要です。）

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン/レベル商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問合せください。

7. 購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス/サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載します。

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号または、ライセンス条件説明書の第1項「基本的なご使用方法」第(1)号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書または、ライセンス条件説明書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

1. ETERNUSディスクアレイのアドバンスド・コピー機能を利用してミラーリングしたデータベースをバックアップする場合

(Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)利用時)

- ・ ETERNUS SF AdvancedCopy Managerのソフトウェアガイドを参照してください。

(Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)利用時)

- ・ ETERNUS SF AdvancedCopy Manager 16.8以降

さらに、信頼性を高める方法として、ETERNUSディスクアレイ筐体間でミラーリングしたデータベースをバックアップする場合は、以下のいずれかのソフトウェアも必要です。(注1)(注2)(注3)

- ・ PRIMECLUSTER Enterprise Edition 4.3A40以降/4.5A10以降
- ・ PRIMECLUSTER HA Server 4.3A40以降/4.5A10以降

(注1) Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)およびRed Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)がインストールされている環境において32ビット互換モードでは利用できません。

(注2) 使用するPRIMECLUSTERに対応したETERNUS SF AdvancedCopy Managerを組合せてください。

(注3) PRIMECLUSTERのRed Hat Enterprise Linux 8およびRed Hat Enterprise Linux 9の対応状況は、PRIMECLUSTERのソフトウェアガイドを参照してください。

2. PRIMECLUSTER GDS機能を利用してミラーリングしたデータベースをバックアップする場合

PRIMECLUSTER GDS機能を利用してミラーリングしたデータベースをバックアップする場合、以下のいずれかが必要になります。(注1)

- ・ PRIMECLUSTER Enterprise Edition 4.3A40以降/4.5A10以降 (注2)
- ・ PRIMECLUSTER HA Server 4.3A40以降/4.5A10以降 (注2)

(注1)Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)およびRed Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)がインストールされている環境において32ビット互換モードでは利用できません。

(注2) PRIMECLUSTERのRed Hat Enterprise Linux 8およびRed Hat Enterprise Linux 9の対応状況は、PRIMECLUSTERのソフトウェアガイドを参照してください。

1. ETERNUSディスクアレイのアドバンスド・コピー機能を利用してミラーリングしたデータベースをバックアップする場合

- ・ EC/OPC機能を装備したETERNUSディスクアレイ

1. Intel64環境での動作について

本商品は、以下のディストリビューションの環境で、64ビットモードで動作します。

- Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) Red Hat Enterprise Linux 8.1以降をサポート
- Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)

2. Symfoware Server(Native)との組み合わせについて

本商品は、同一バージョンレベルのSymfoware Server(Native)が必要です。

使用方法については、Symfoware Server(Native)のメディアパックに添付されるオンラインマニュアル「Symfoware Server RDB運用ガイド」を参照してください。

3. Postgresの使用について

Postgresを使用して作成したデータベースは、本商品でのバックアップはできません。

4. 対応するクラスタシステム

以下のクラスタシステムに対応します。

- ・ PRIMECLUSTER Enterprise Edition 4.3A40以降/4.5A10以降
- ・ PRIMECLUSTER HA Server 4.3A40以降/4.5A10以降

運用形態は、Symfoware Server (Native)の運用形態に準じます。

5. 仮想化環境で利用する場合の留意事項

以下の機能は、利用できません。

- ・ DR機能
- ・ FT機能
- ・ HA機能（データベース二重化機能を利用する場合）

以下の機能は、データベースが停止している場合に利用可能です。

- ・ vMotion機能
- ・ クローニング機能

(2) Linux仮想マシン機能を利用する場合

以下の機能は、データベースが停止している場合に利用可能です。

- ・ ライブマイグレーション機能
- ・ クローニング機能

(3) Hyper-Vを利用する場合

以下の機能は、利用できません。

- ・ ライブマイグレーション機能
- ・ クイックマイグレーション機能
- ・ Hyper-Vレプリカ機能
- ・ インポート/エクスポート機能

6. 前版との差異

(1)以下のOSは、サポート対象外となります。

- Red Hat Enterprise Linux 7

お客様向けURL

- ・ **ソフトウェア：富士通（Symfoware）**

本商品の詳細情報を掲載しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/middleware/database/symfoware/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**

価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>